わくわくをつぎつぎと

いきふれ通信

IKIFURE NEWS

Vol.63 2023年秋号

埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター
〒359-1133 所沢市荒幡 782 04-2939-9412 http://www.ikifure.info

右 / ウチワタケ　左上 / イイギリ　中央 / ホンドタヌキ　中央下 / クロスジフユエダシャク　左下 / カケス

冬への備え

～夏と冬の間で～

記録的暑さの夏が過ぎた後も続く残暑。年々秋が短くなっていくようですが今年は10月21日から11月7日が『秋土用』になります。そして11月8日は『立冬』です。秋土用は辰の日に『た』の付くものや、青いものを食べるとよいとされています。タマネギ、ダイコン、タコ、青魚のサンマ、サバ、イワシ。サンマに大根おろしといえばまさに旬の味ですね。このころは夏の疲れが出やすい時期です。そして寒い冬に備えて準備をする時期でもあります。旬の滋養のあるものを食べてゆったりと過ごして心身共に健やかに季節の変わり目を乗り切りたいものです。

今年の十三夜は10月27日、後の月や栗名月とも言われます。十日夜は11月22日で、こちらは月を愛でるよりはいわゆる収穫祭で、田の神様が山に帰る日とされます。太陽は低くなっていきますが反対に月は空高く輝くようになります。秋になると何となく物悲しくなったりするのは　太陽と関係があるようです。

寒さのピークはまだ少し先ですが、太陽は冬至を境に復活します。短い秋に楽しみは沢山あります。秋は人を詩人にもしてくれます。露を宿すシロヨメナや慎ましやかな秋草たち。万葉集で一番多く詠まれた植物はハギです。落ちたドングリを山から下りてきたカケスや繁殖期を終え冬に備えほかの小鳥たちと混群を作っているヤマガラもついばみます。

紅葉の名所が静かになるころ狭山丘陵の木々は色づいたかと思うと落葉していきます。

モズの高鳴きが秋を告げ、ニトベエダシャクやフユシャクたちが冬を告げます。本格的な冬を前に気の早い早春の花、ホトケノザやオオイヌノフグリが地面近くで咲いているかもしれません。

クリ
画　堅香子の会

おすすめの取組み

秋展示：キノコ入門を開催します。

9月中旬から11月末まで実物のキノコも展示を計画しています。

センター棟修繕のお知らせ

センター棟屋根の葺き替え工事を予定しております。大型重機等を使用します。

工期：令和5年11月～令和6年2月

詳しくは、当センターHPをご覧ください。

狭山丘陵 出前講座をご利用下さい。

狭山丘陵の動物や植物のことを多くの方に知って頂きたいと思い企画しております。